

Mito City International Association

(財)水戸市国際交流協会機関紙

第11号

2001.3.

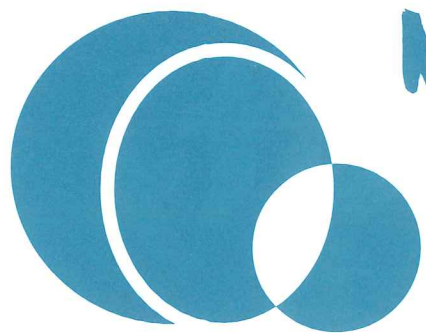
第25回国際親善姉妹都市アナハイム市親善訪問団



2000年10月16日から23日までの8日間、岡田市長を団長、福島市議会議員を副団長とした総勢34名の親善訪問団が、アナハイム市はじめアメリカ各都市を訪問してきました。

アナハイム市では、市役所を表敬訪問。岡田団長は「水戸市とアナハイム市の交流は、来年で25年を迎え、これを契機に両市の絆が一層強くなることを祈念します」とスピーチしました。

友好親善プログラムでは、姉妹都市協会の皆さんの案内で消防署やコンベンションセンター、ディズニーランドの新テーマパークなどを視察。団員の皆さんは施設のスケールの大きさを感じるとともに、運営システムの違いにも驚かされました。また、恒例となっている歓迎パーティーやサヨナラパーティーでは多くの方々から心温まる歓迎を受け、和やかな雰囲気の中に友好が深まりました。



Mito City International Association

◆第25回 国際親善姉妹都市 アナハイム市親善訪問団

参加者の声

田山 陽子

今回の視察団に参加した私の最大の目的は、6年前に水戸市学生親善大使としてアナハイムを訪問した際に大変お世話になったホストファミリーのヘファーン夫妻と、大親友のジェニファーに会いに行くことだった。

ロサンゼルス空港に到着してみると、6年前の広大な青空がまだそこにあった。多少は建物が増えたり道路が整備されたようだったが、初めてアメリカを訪れた際の感動が蘇った。

予めヘファーン夫妻とジェニファーには速達で今回の訪問を連絡しておいたが、届いているかどうか不安だった。アナハイムのホテルに到着し、部屋の鍵を受け取る際に、早くもその答えを知った。友人ジェニファーからのメッセージ、私の連絡を待つ、が届けられていた。そして、翌日の視察のバスにはヘファーン氏がアナハイム市側のお世話人として同乗していた。日程はだいぶきつかったが、アナハイム市の見所を簡単にかいつまんで視察でき、とても有意義な時を過ごせた。個人的にはもう少しアナハイムに滞在したかった。

8日間はとても短すぎたが、一日一日が最高だった。私の人生に大切なエッセンスを得られた。今後もアナハイム市と水戸市の交流が続き、発展していったほしい。次回も御迷惑でなければ是非参加させて頂きたいと思う。



アナハイム市議会議場で英語でスピーチする岡田団長。



アナハイム市コンベンションセンターの視察。施設のスケールの大きさに驚かされる。



アナハイム市姉妹都市協会主催のサヨナラパーティー。アナハイムの市民の方々から心暖まる歓迎を受ける。

●中国に帰国した劉さんからの手紙を紹介します●

水戸市国際交流協会：了解世界的窓口、外国人温暖的家 水戸市国際交流協会は、世界を知る窓口、外国人の温かい家

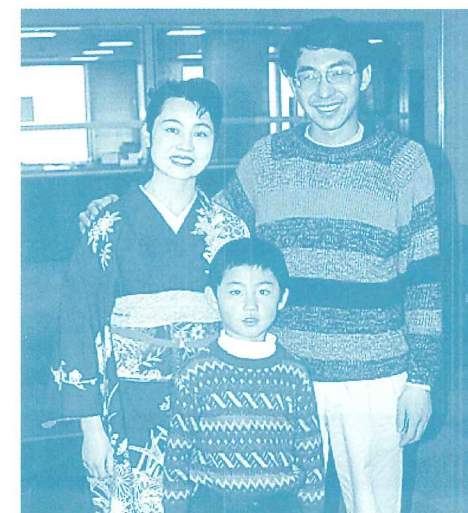
私たち一家は、1997年3月、中国の西安から水戸にきました。私は茨城大学の外国人研究員、妻は茨城大学博士コースの学生として、また息子は渡里小学校に通い、水戸で3年間生活しました。

しかし、このほど私たち一家は中国に帰ることになりました。正直言って、私たちの心境は非常に複雑です。なぜなら、水戸が大好きで、水戸にいるたくさんの友達と別れるのが辛いからです。

私たちは、水戸に来てしばらくして友人から「水戸市国際交流協会ではいろいろな活動をやっていますよ」という話を聞き、軽い気持ちで土曜サロンに参加してみました。これがきっかけで、土曜サロンの常連客となり、たくさんの友人ができました。

土曜サロンは、私たちのような在住外国人のために相互交流の機会を与えてくれるばかりでなく、国際交流に興味のある市民にも外国を知るチャンスを与えてくれます。土曜サロンの場では、公式な言葉というものはなく、日本語、中国語、英語、アラビア語、フランス語などさまざまな言葉が飛び交い、ひとつの言葉が何重にも訳されて意味が通じることもあります。参加している皆さんは自由に会話し、私たちは日本の文化や経済について勉強することができ、日本の皆さんは外国についての知識を得ることができます。

また、私は水戸市国際交流協会が主催した「中国教室」を通して、中国の歴史、文化、風俗習慣、料理などを日本の皆さんに紹介しました。その一方で、私たちはそれまで日本の代表的な文化というもの本などで見るだけでしたが、協会のおかげで実際に体験することができました。妻は和服がとても好きになりました。そして息子は折り紙やけん玉が大好きで、私は茶道がお気に入りです。



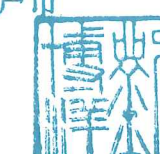
劉さん一家

このように、私たちが水戸で楽しい生活を送ることができたのは、水戸市国際交流協会のおかげだと思っています。協会は私たち外国人には温かい家のようなところであり、ある意味で協会は水戸市の窓口であるばかりでなく、日本の窓口、そして世界を知る窓口であるとも言えると思います。

私たち一家は、まもなく水戸を離れます。協会の活動で知り合った日本の友人たち、外国の友人たちに感謝の意を表したいと思います。そして、私たちと水戸市国際交流協会との友情が永遠に続くことを確信しています。

友情の木が永遠に茂らんことを!

中国、陝西师范大学
刘志斌、王青川 和 刘博洋
2000年11月于水戸市



行事報告



スキー教室(2月22日)

初めてのスキー、よい思い出ができました

私たちは、水戸市国際交流協会主催による猪苗代スキー教室に参加して、とても楽しい一日を過ごすことができました。

実は、今回が初めてのスキーで、滑ることができなくても日本の雪を見たいと思い参加しましたが、思い切ってスキーを借りてみました。そして、先生達に丁寧に教えていただき滑れるようになりました。一生懸命やったのでびしょり汗をかきました。先生達のやさしさに触れ、寒い雪の中で心の奥まで暖かくなったと思います。きっと、私たちだけではなく、参加した各国のお友達も同じように良い思い出ができ、嬉しく、感謝の気持ちで一杯なのではないでしょうか。

国際交流協会は、私たちにとって実家のようなものです。相談事に対して、いろいろアドバイスをしてくれるなど本当に心の支えになっています。これからも私たちは、日本で頑張って生活をしていきます。よろしくお願いします。

最後に、丁寧に教えていただいた市役所スキー部の方々に感謝いたします。

黄 玲(関 理江)

黄 瓊(小林 千紘)

INFORMATION

◇水戸市国際交流協会

インターネットホームページ

水戸市国際交流協会のホームページを開設しています。皆さんのアクセスをお待ちしています。

(アドレス<http://www.mitoic.or.jp/>)

◇インターネット利用サービス

国際交流センター2階にコンピュータを設置しています。インターネット、コンピュータのワープロ・ソフトなど、いずれも30分100円で利用できます。

◇どようサロン

毎月第1、第3土曜日の午後に国際交流センター2階で開催しています。お茶を飲みながら、世界各国の皆さんとおしゃべりしてみませんか。外国からの皆さんには、3分間無料で利用できる国際電話「ふるさとでんわコーナー」もあります。予約の必要はありません。当日、直接会場へおいでください。

◇『CITY MAP MITO』及び

『水戸の生活ガイドブック』

英文版水戸市地図『CITY MAP MITO』及び『水戸の生活ガイドブック(日英併記)』を無料で差し上げています(緊急時の対応など、外国人の水戸での生活に役立つ情報が満載です)。

◇相談受付

相談者は外国人、日本人を問いません。秘密厳守で応じています。直接国際交流センターへおいでください。また、電話やEメールでも受け付けています。

〒310-0024 水戸市備前町6-59

水戸市国際交流センター内

(財)水戸市国際交流協会

Tel:029-221-1800 Fax:029-221-5793

E-mail:mcia@mito.ne.jp

水戸市国際交流センター案内図 Area Map & Transportation Guide

